

研究紀要 27

目 次

津島 秀章	1
集合と分散 —石器原産地分析からみた中型環状ブロック群の構造—	
齋藤 晴	17
縄文時代草創期後半における土器と石鏃の共伴関係 —白井十二遺跡から出土した土器と黒曜石製石鏃を中心として—	
閔根 慎二	33
縄文時代前期の石皿状土製品について	
山口 逸弘	43
上ノ平遺跡 31号住居跡出土土器の再検討	
樋崎修一郎	61
群馬県の鍋被り葬・鉢被り葬と出土人骨	
飯島 義雄	77
灌漑用水遺構・女堀の赤城山南麓への引水経路の検討	
大西 雅広	97
火打関係史料拾遺	
須田 茂	111
群馬県域における秩父巡礼道の復元的考察	
山田 精一	131
歴史学習における効果的な教材開発について —発掘調査報告書教材化の方法とその教育的意義—	
藤巻 幸男	147
八ッ場ダム建設地域における調査遺跡一覧作成の試み —出土遺物総量把握の効用—	

2009

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団